

令和5年度

寄居町中学生海外相互交流派遣事業

# 報告書



令和5年 8月18日～27日

アメリカ合衆国 オハイオ州 メアリスビル市

# も く じ

◆ 趣旨・参加者名簿	1
◆ 交流経緯	2
◆ メアリスビル市の基本情報	3
◆ 事業日程	4
◆ 不思議発見!! in メアリスビル	5
◆ The journey of Marysville ～メアリスビルへの冒険～	7
◆ おどろいた!? メアリスビルの「あたりまえ」	9
◆ 派遣者個人報告	
① 「Happy 10days」	11
② 「アメリカでの貴重な体験」	12
③ 「My best memory」	13
④ 「Valuable American life」	14
⑤ 「Marysville where the grass is greener」	15
⑥ 「メアリスビルでの10日間」	16
⑦ 「メアリスビルでの学び」	17
⑧ 「アメリカで過ごした貴重な十日間」	18
⑨ 「私の人生を変えたメアリスビル」	19
⑩ 「ホームステイを経験して」	20
◆ 引率者報告	21

## ◆趣 旨

この事業は、米国オハイオ州メアリスビル市との交流事業の一環として、お互いの文化や教育に対する理解を深めるとともに、国際化社会に対応する人材を育成することを目的としています。

※この事業は、「次代を担う子どもたちが健やかに育ち、豊かな心を育む施策の推進に資すること」を目的として、町内に事業所を持つオリックス資源循環株式会社（三ヶ山区）の寄付金により創設された「オリックス資源循環子ども未来基金」を活用しています。



◆交流経緯—寄居町とメアリズビル市との交流の経緯について—

平成25年	2月20日	寄居町長からメアリズビル市長へ交流を希望する親書を送付
	4月8日	メアリズビル市長から寄居町へ交流に賛同する返書を受領
	9月11～12日 (2日間)	メアリズビル市長を含む3名が来町 町内施設などの見学等を行い、具体的な交流を開始
	12月1～6日 (6日間)	寄居町長を団長とする9名の視察団を派遣し、メアリズビル市を視察 友好都市提携に向けた交流活動を進めていくための友好宣言書に調印
平成26年	6月29日	メアリズビル高校の校長が来町。 中学校をはじめとする町内施設を視察
平成27年	5月27～31日 (5日間)	メアリズビル市に寄居町との交流を記念したパートナーズ公園が完成 落成式に副町長ら3名の視察団を派遣
	7月4～13日 (10日間)	メアリズビル市から生徒6名が寄居町でホームステイ滞在 学校体験や町内施設等を視察
平成28年	8月19～27日 (9日間)	寄居町から中学生18名をメアリズビル市へ派遣し、ホームステイ滞在 学校体験や市内施設等を視察
平成29年	7月7～16日 (10日間)	メアリズビル市から生徒16名が寄居町でホームステイ滞在 学校体験や町内施設等を視察
平成30年	8月17～26日 (10日間)	寄居町から中学生10名をメアリズビル市へ派遣し、ホームステイ滞在 学校体験や市内施設等を視察
令和元年	7月6～15日 (10日間)	メアリズビル市から生徒6名が寄居町でホームステイ滞在 学校体験や町内施設等を視察
令和2年		新型コロナウイルス感染症の影響により寄居町からの派遣を中止
令和3年		新型コロナウイルス感染症の影響により寄居町からの派遣を中止
令和4年	11月15日	新型コロナウイルス感染症の影響により寄居町からの派遣を中止
	11月18日 (2日間)	代替事業としてオンライン交流会を実施 オンライン交流事業①【寄居町立城南中学校×メアリズビル市】 オンライン交流事業②【寄居町立寄居・男衾中学校×メアリズビル市】
令和5年	8月18～27日 (10日間)	寄居町から中学生10名をメアリズビル市へ派遣し、ホームステイ滞在 学校体験や市内施設等を視察



## ◆メアリスビル市の基本情報

メアリスビル市は、オハイオ州の州都コロンバスの北西約 40 km に位置する、人口約 2 万 7000 人（2023 年現在）、面積 40.84 平方キロの市です。本田技研工業株式会社のアメリカ法人、ホンダ・オブ・アメリカの工場やネスレの研究開発センター、世界的な芝生、園芸メーカーのスコッツ・ミラクル・グローを本社に置くなど、全米規模、世界規模で事業展開をしている企業が集まるオハイオ州中央部の産業の中心地です。



◆事業日程

日 時		内 容	
7月	13日(木)	【説明会】	参加者自己紹介、日程説明、渡航手続き案内 ほか
	21日(金)	【事前研修①】	語学研修 「あいさつ、自己紹介、機内会話、入国審査、ホームステイ会話、ショッピング会話、プレゼンテーション」
	26日(水)	【事前研修②】	
	31日(月)	【事前研修③】	
8月	7日(月)	【事前研修④】	
	17日(木)	【結団式】	激励のこたば、派遣団員決意表明 ほか
	18日(金)	【出発】	6:30 寄居町役場発 / 11:45 羽田空港発 ⇒シカゴ空港経由
		【到着】	17:40 コロンバス空港着 メアリスビル市内ホテル泊
	19日(土)	【学校】 【歓迎行事】  【ホームステイ】	コロンバス日本語補習校見学 ホンダヘリテージセンターで歓迎行事 [市長挨拶、生徒自己紹介、ホストファミリー挨拶 等] ホンダヘリテージセンター見学 ホームステイ開始
	20日(日)	【自由行動】	ホストファミリーと過ごす1日
	21日(月)	【学校】 【視察】	バンソールド中学校見学・授業参加 ショッピングセンター
	22日(火)	【学校】	メアリスビル高校見学、授業参加 アーリーカレッジ高校見学、授業参加
	23日(水)	【視察】	市役所、裁判所、市街地(アップタウン)、コロンバス動物園 プールパーティ
	24日(木)	【視察】	COSI(科学博物館)見学
	25日(金)	【学校】 【送別行事】 【学校】	アーリーカレッジ高校日本語クラス授業参加 アーリーカレッジ高校で送別行事 [市長挨拶、生徒お礼の挨拶 等] メアリスビル高校、アーリーカレッジ高校合同ペッパーラリー(全校集会) メアリスビル高校フットボール部対外試合観戦
	26日(土)	【出発】	7:06 コロンバス空港発 ⇒シカゴ空港経由
	27日(日)	【帰国】	16:30 成田空港着 / 19:40 寄居町役場着
9月	13日(水)	【事後研修①】	報告書作成
	22日(金)	【事後研修②】	
	27日(金)	【事後研修③】	
10月	26日(木)	【帰国報告会】	帰国報告会



## 不思議発見!! in メアリズビル

参加者生徒によるグループ報告

### 【アメリカの食文化】

日本と同じで朝・昼・夜大体同じ時間に食事をとります。朝食はドーナツやパンケーキ、フルーツ、シリアルなど甘いものが多かったです。昼食は学校のカフェテリアで好きなものを選んで食べるという形式でした。主食はチーズバーガーかピザでそのほかに野菜・ポテト・フルーツ・スナック菓子などがありました。夕食はピザやステーキなどガッツリしたものが多く印象でした。飲み物は極端に言うと水 or コーラみたいな感じでした。アメリカの食べ物は日本に比べてサイズも大きく、ボリュームがあって、味も濃いことが多かったです。アメリカの食文化で1番驚いたことは野菜を生で食べることです。にんじん・ブロッコリーなどが生でできます。日本とアメリカの食文化ではたくさんの違いがあり、それぞれの国にあった食文化があることがわかりました。



### 【アメリカと日本の日常生活の違い】

アメリカにいる時に感じた、日常生活の違いについてまとめました。ホストファミリーの家に着いた時1番初めに感じたことは、裏庭がとても広いということです。そして、庭には芝生があり法律(地域による)によって芝の長さが決められているので、芝生の手入れは必須です。また、地域によっては家と家が近い所があるので近所の友達が頻繁に遊びに来ます。また、家庭によって違うところもあると思いますが、寝る時間が日本と比べて早いと思いました。アメリカは日没が遅く、日の出も遅いので起きるのにも寝るのも苦労しました。そしてステイ先のホストチュードントと週に何回か教会へ行きました。想像していた教会とはイメージが違い、卓球など様々な遊びができました。そして学年問わず色々な人が来るので、たくさんの人と交流ができました。車での移動の際は、フリーウェイという高速道路を使いました。日本の高速道路とは違い、料金を払う必要がないのでとても便利だと思いました。国土が広いからこそそういった道路が必要なのだと思います。そして現地の方々には本当にフレンドリーなので、日本人とは違うあたたかみがありました。互いの文化を尊重し、交流を深めることは大切だと思いました。

### 【アメリカの授業の雰囲気】

日本の授業では、先生の指示に従って話し合いや問題を解いたり考えたりなどをするのが一般的だと思います。しかし、アメリカ(メアリズビル市)の授業は全く違いました。私たちが訪れたのは、バンソールド中学校、メアリズビルハイスクール、アーリーカレッジハイスクールの3つです。バンソール

ド中学校では、合唱、社会の授業に、メアリズビルハイスクールでは、ビジネスとアートの授業に、アーリーカレッジハイスクールでは、日本語の授業にお邪魔させていただきました。合唱、社会、ビジネス、の3つの授業では、友達と話したり、スマホを見たりなどと、日本よりも自由でうらやましかったです。アートの授業は、日本と似ていて、1時間絵を描く感じでした。日本語の授業では、現地の高校生と日本語で話したり劇をしたりしました。印象に残ったのは、自分の意見をそれぞれが言っていることです。私たちも見習いたいと思いました。



#### 【日本とアメリカの学校の違い】

アメリカの学校へ訪れてみてたくさんの日本の学校との違いがありました。その中でも特に驚いた違いを紹介します。まずは、日本の学校に比べて教室の数がとても多いということです。学校に通っている生徒の人数が多いからという理由もあると思いますが、教科ごとに教室があり、教室内はその教科に関連する装飾になっていて、とても面白かったです。日本語の教室には、ひらがなで書かれた単語が壁中に貼ってありました。次は生徒同士が交流する場所が多いということです。各フロアに必ず生徒同士で交流できる場があり、そこでお話をしたり、勉強や宿題をしている生徒もいました。私が通っている学校には生徒同士で交流するスペースがないので、友

達と一緒に勉強している姿を見てとてもうらやましく思いました。

最後に運動場がとても多いということです。大体の学校は、校庭やテニスコートがあると思いますが、アメリカ(メアリズビル)の学校には、野球場、ソフトボール場、フットボールコートがありました。一つの学校でこれだけの運動場があるなんて知らなかったもので、とても驚きました。広大な土地があるからこそ、出来ることなのだと思いました。アメリカの学校へ行ってみて驚くことばかりでしたが、とてもいい勉強になりました。

#### 【まとめ】

食文化、学校生活、授業など、ほとんどの部分が日本と違っていました。すべてが新鮮でした。さらに、アメリカの文化から学べるものがたくさんありました。アメリカで得た経験を、これからの生活に活かしていきたいです。また、この経験を活かして今までの自分を変えていきたいです。



# The journey of Marysville ～メアリズビルへの冒険～

参加者生徒によるグループ報告

Let's go to Marysville where the grass is greener.

## 【アメリカでの生活】

私達がアメリカで生活して思ったこと・発見したものを紹介します！

- ・土足の家がある。(土足ではないところも)
- ・家がとんでもなく広い！(地下室付き)
- ・野生のリスがいた！
- ・トイレのドアが上下空いていた
- ・お風呂はなく、シャワーのみ。
- ・自販機の飲み物が約 400 円、、、

など、日本とは違ったところがたくさんありました。朝起きたらまだ空は真っ暗で、7時前後にやっと明るくなったような感じでした。そのため時間感覚がおかしくなることもしばしばありました。朝と夜は上着が必要なくらいの温度でした。

食べ物は基本的に味が濃いものが多かったです。ドーナツがとても甘くて日本人の口には合いませんでした。主に食事のときはナイフとフォークを使うため、最初は箸がとても恋しく感じました。



アメリカであった人達はみんな背が高い人達が多くて本当にこの子は同じ年なのか？と疑ってしまうこともありました。

ショッピングのときはお店がとにかく広い！ため迷

いそうになりました。そして商品がでかい！ので驚きました。さすがアメリカ！とつい言ってしまいました。

ホストファミリーに日本のことを言うととても驚かれることが多かったです。改めて国ごとに文化が違うということが認識できました。そしてもう一つ改めて思ったことがあります。それは、『日本のものはとても安い！』ということです。



## 【アメリカの学校の様子】

私達は、アメリカで日本の中学校にあたる BMS と、高校にあたる ECHS と MHS に行ってきました。

## 【BMS】

8月21日に行った BMS でやったこと。

- ・アメリカの生徒と社会、音楽、体育の授業を受ける。
- ・BMS のカフェテリアで昼食

社会の授業では、1人が絵を描いて他の人が、何を表してるのを当てるというゲームをしました。

音楽の授業では、アメリカの生徒が日本語で、「おもち」の歌を歌ってくれて、とても嬉しかったです。体育の授業では、アメリカの生徒と、キックボールというスポーツをやりました。ルールはわからなかったけどとても嬉しかったです。



#### 【ECHS】

8月22日と、25日に行ったECHSでやったこと。

- ・ECHSの生徒による学校案内
- ・キックボール(再び)
- ・アメフトの試合会場の見学
- ・日本語の授業に参加

生徒による学校案内では英語で、ものを作る教室や車の溶接に使う教室などを教えてくれました。キックボールは、アメフトの会場の隣にあるグラウンドでやりました。

アメフトの会場は、とても大きくて人工芝でした。日本語の授業では、アメリカの生徒と日本語で自己紹介をしました。アメリカ人の日本語がとても上手で驚きました。

#### 【MHS】

8月22、23.24日に行ったMHSでやったこと。

- ・ドーナツを食べる
- ・授業に参加

MHSについてすぐ、MHSの校長先生がドーナツをくれました。授業は、経済の授業に行きました。とても嬉しかったです。



#### 【まとめ】

アメリカと日本の文化の違いをたくさん体感しました。両国にはそれぞれいいところがたくさんあります。

メアリズビルの *where the grass is greener*. 「隣の芝は青い」のように他人が持っているものがやたらとよく見えてしまうことがあります。日本にいて自由なアメリカの良さを感じ羨ましいなと思うことも度々ありました。けれど日本の良さも向こうに行つて分かりました。これからも他の国の文化や生活を理解していけたらいいと思います。





# おどろいた!? メアリズビルの「あたりまえ」

参加者生徒によるグループ報告

私たちはこの海外派遣事業を通して、メアリズビルの「あたりまえ」について学んできました。

## 〔 School Life 〕

私は、メアリズビル市にある、3つの学校に行ってきました。3つの学校とも同じような特徴がいくつかありました。

1つ目は、学校のかべにペイントがされてあることです。どの学校にも、かわいいものからかっこいいものまであり、見ていてとても楽しかったです。

2つ目は、学校の施設が整備されているところです。体育館が2つあったり、レスリング場、筋トレルームやバスケットアメフトの部屋がそれぞれあったりと学校が広いのにはわけがあることがわかり、とてもうらやましくも思いました。

3つ目は、授業の雰囲気がとてもゆるいところです。授業は基本的に、先生がしゃべり生徒が聞く形で進められます。生徒は先生に自由に発言し、授業が始まって入ってきてても特になにも言われず、授業も遊び的な感覚ででき、解放的にできるところが一番違うと感じました。メアリズビルの学校を見学し

て、日本とは違うところが多く、羨ましいと思うところもあるけど、日本のいいところも気づけたので、良い体験になりました。

## 〔 《食》 CULTURE 〕

メアリズビル市での食事で、驚いたところを紹介します。

食事をしてみて気づいたことは、日本よりも味や色ははっきりしているということです。特に、お菓子やアイスはその違いをよく感じられました。チョコレートは日本の物よりも甘さを感じ、甘い物を食べた!という満足感がありました。アイスは、赤やオレンジ、紫など、とてもカラフルでした。

次に野菜です。学校を訪れたときに、学食で食事をしました。美味しいメニューがたくさんあったのですが、ニンジンやブロッコリーなどをゆでずに食べることに驚きました。あまり食べ慣れていない物なので、好き嫌いが分かれるかもしれません。

現地の食事では一番多く食べたのはおそらくピザだと思います。驚いたのはカットの仕方です。日本で多く見る扇形ではなく、小さく四角形にカットされ





ていました。食べやすく、いろいろな種類が食べられるようになっていました。

主食はお米ではなく、パンが多かったです。町の中には、メキシコ料理や中華料理、日本料理のお店もあります。アメリカはいろいろな国の方が住んでいて、国土も広いです。各家庭でも少しずつ文化は異なります。そのことを食事面から感じることができました。

メアリズビルは木や花などの自然が綺麗で街も整っており感動しました。そして、家の周りにある芝も綺麗に整備されていました。

私はアメリカと日本の街並みや風景の違いや特徴を紹介したいと思います。

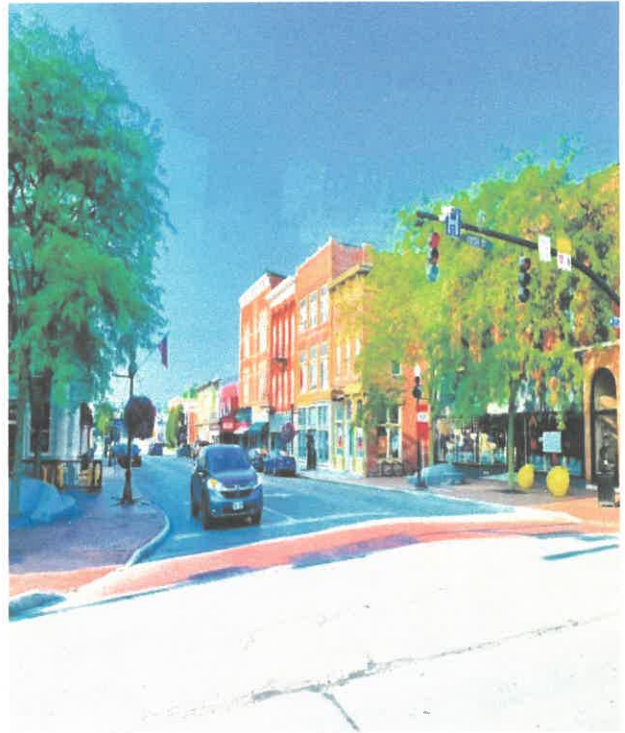
一つ目は、「道」です。アメリカの道は、日本のように曲がっているものは少なく道路は真っ直ぐ整えられていて、とても車での移動が楽だと感じました。道の横幅は広く、サイドに車が駐車出来るようになっていました。

二つ目は、「住宅街」と「街並み」についてです。アメリカの住宅街はレンガ造りで、エントツがある家が多かったです。自然が豊かで、野生のウサギ、木の上にはリスがいました。動物が住みやすく、人間も住みやすい街なのだと思います。

車で移動していると、周りには見渡すかぎりの大豆とトウモロコシ畑をいくつも目にしました。どの畑も大規模で畑はギッシリ野菜が植えられていました。郊外では、広大な土地を利用して、たくさん野菜を生産して、私たちの食生活を支えていることがわかりました。

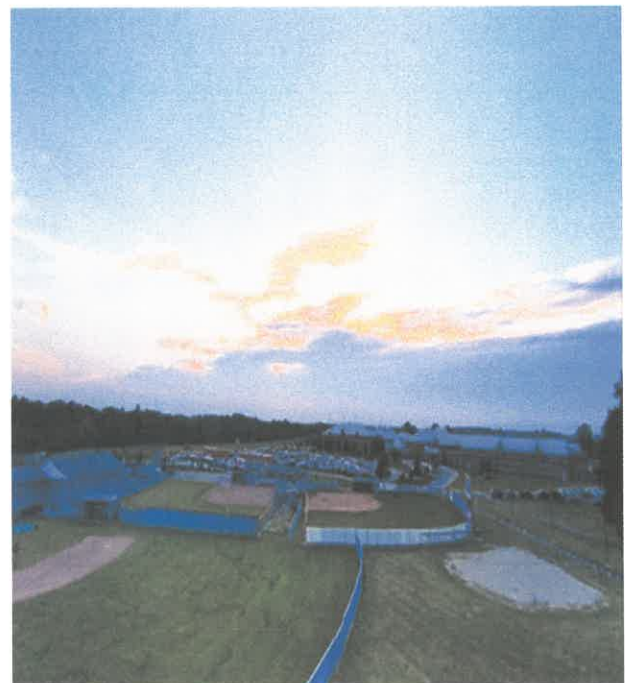
三つ目は、日照時間についてです。日本より日照時間が長く夜の7時半ごろでもまだ明るかったです。公園ではたくさんの子供連れの家族が遊んでいたり、サッカーチームが練習をしていたりしていました。

アメリカの「町並み、風景」にとくに目を向けて、たくさん日本と違う所があり驚きました。いつもと違う環境で生活することで、文化の違いをより身近に実感することが出来ました。



〔まとめ〕

今回、私たちはメアリズビルとの「あたりまえ」の違いについて調べました。寄居町とは違うところがたくさんあり、いろいろなことに驚きました。メアリズビル（アメリカ）と寄居町（日本）の文化、どちらも大切にしていきたいです。また、行かなければ気づけなかったこともあります。この貴重な経験をこれからは活かしていきたいです。



## 1.初めてのホームステイ

入国して2日目、1週間お世話になるホストファミリーの方々と初めてお会いしました。最初はとても緊張しましたが、ファミリーの皆さんが快く受け入れてくれたおかげで割りとすぐに慣れることができました。ホストシスターのクレアとは共通の趣味であるアイドルや日本のアニメについてたくさん話しました。1日目から出国前に目標としていた「積極的に話しかけること」を実践することができました。ホストマザーとホストファザーとも話すことができました。ご飯を食べながら、自分の家族や友達について話したり、おすすめ映画を一緒に見ました。1日ホストファミリーと過ごす日には、畑に連れて行ってもらいたくさんの自然に触れました。その後はエンターテインメントセンターへ行き、クレアと2人でたくさん遊びました。他にも、スーパーへ買い物に行ったり、散歩をしたりコロンバスの方まで買い物に連れていってもらったりとても思い出に残る充実したホームステイになりました。ホームステイで起こったハプニングとしては体調不良と車酔いです。ホストマザーに伝えると薬をくれ、休ませてくれました。この経験を通して正直に伝えることが大切だと分かりました。

## 2.アメリカの食生活

アメリカも日本と同じで朝、昼、晩のだいたい同じ時間帯に食事をしました。朝食は、シリアルやパンケーキ、フルーツなど甘い物が多かったです。昼食は学校のカフェテリアで好きなものを選んで食べる形式でした。メインはチーズバーガーかピザでサイドにポテトや野菜、フルーツなどがありました。飲み物は牛乳、チョコ牛乳、フルーツジュースなどでした。夕食は、

とても大きなチーズバーガー、ピザ、チキンなど外食をすることもありましたが、ホストマザーが作ってくれた物を食べました。アメリカの食べ物はどれも日本よりサイズが大きく、味も濃かったです。私はアメリカで1番食べることを楽しみにしていましたが、意外と口に合わず苦労しました。とても美味しいのですが、量がとても多くキツかったです。野菜を生でそのまま食べるのもキツかったです。(特にニンジン)私は今回で日本食は最高だと思いました。

## 3.アメリカの学校

3日間アメリカの学校を見学させてもらいました。率直にとてもうらやましかったです!とても自由で個性も生かされる環境でした。先生方もとてもフレンドリーで毎日通いたいと思いました。髪色、服装、ピアスなどは自由だったり、授業の受け方が自由であること、お菓子があんな事などにとてびっくりしました。その他にも、幅広い科目、部活動、校舎の大きさ、学校のスケールなど日本と違うところばかりでした。学校でも積極的に話しかけ、友達を作ることができました。とても貴重で楽しい経験ができました。

## 4.まとめ

今回の経験は私の人生においてとても貴重なものになりました。初めて経験することや驚いたことがたくさんありました。この経験を今後の人生に活かしていきたいです。このアメリカで過ごした10日間を自信に変え、何事にも恐れず、まずは挑戦すること!をしていきたいです。

## アメリカでの貴重な体験

私は、「日本との違いを肌で感じる」「メアリズビルの産業について知り、メアリズビルに対しての関心を深める」という目標を持って、この事業に参加しました。初めての海外、初めてのホームステイ、大変なこと、不安なこともありましたが、たくさんの人々のおかげで、一生忘れられない思い出となりました。

### <ホームステイ>

私のホストファミリーは、ケイド(17)、セラフィナ(13)、お父さん、お母さんの4人家族です。

- ・お昼ご飯は、マクドナルド  
(日本にはないメニューがたくさんあった)
- ・マンゴーパイナップルスムージーで本場アメリカの味を実感
- ・ホストファミリーとサイクリング
- ・道が広く、芝や木は丁寧に手入れされていた
- ・朝食担当はお父さん、夕食担当は、お母さん
- ・朝食は主に、サンドイッチやワッフルと水タ食で1番心に残っているのはタコス
- ・私が泊まった部屋は、大きなベッドとソファ、棚があった
- ・家も大豪邸
- ・庭も広く、リスを放し飼いにしている

### <学校訪問>

アメリカでは、日本の中学校にあたる、BMS(バンソールドミドルスクール)や、日本の高校に当たるMHS(メアリズビルハイスクール)、ECHS(アーリーコレッジハイスクール)など、たくさんの学校に行ってきました。

BMSでは、3人の現地の学生が学校内を案内してくれました。学校の所々に生徒の絵が描いてあって、とても賑やかな学校でした。MHSでは、社会と美術の授業に参加しました。社会の授業では、「より良い仕事場の環境」について考える授業を受けました。アメリカも日本と同じように、1人1台タブレットを持って授業を受けていました。美術の授業では相手の似顔絵を描きました。現地の学生はみんな絵が上手くて驚きました。

ECHSではキックボールというスポーツをやった後に、現地の生徒とアイスを食べました。その後、勇気を出して現地の女子達に「一緒に写真を撮りませんか？」と身振り手振りで伝えたら、「sure!」と言ってくれたので、とても安心しました。アメリカの学校の昼食はバイキング形式で、お菓子やジュース、ピザ、ハンバーガーなどを、無料で好きなだけもらうことができました。ECHSで食べたチーズたっぷりのピザは忘れられません。

### <学んだ事> ~日本との違い~

- ・洗濯機が洗濯用と乾燥用2つある
- ・アメリカのマクドナルドの袋、紙ナプキンはリサイクル100%で環境に優しい
- ・お風呂は、シャワーのみでホースがある物と無い物がある
- ・トイレとお風呂は同じ部屋
- ・トイレのドアの上下に隙間がある

### <メアリズビルの産業>

- ・自動車(HONDA)
- ・芝(大きな会社があり、メアリズビルの芝は他のどの地域より色鮮やか)
- ・コーヒー(インスタントコーヒーが有名)
- ・メアリズビルには、中国、ドイツ、日本、スイス、イギリスが投資している。

メアリズビルはアメリカ国内、国外の両方で活躍しています。高速道路の近くにはたくさんの工場があり、流通が盛んです。

### <まとめ>

今回事業に参加を通して、かけがえのない体験ができました。たった10日間でしたが、アメリカで生活することで自然に本場の英語が身に付き、自信につながりました。このような機会をいただけたことに感謝をして、今後の中学校生活を送りたいと思います。



将来、通訳や国をこえた仕事をしたいと思っていた私には、この海外相互交流派遣事業はとても思い出に残り、今後に生かせる、新しいことをいっぱい学べたい経験になりました。また、一生の宝物となりました。

### <ホストとの一日>

アメリカに着いて、二日目に歓迎式がおこなわれ、初めてホストと対面しました。私のホストファミリーのリリアンは六人家族で、四人兄弟の末っ子でした。でも、末っ子とは思えないくらいおとなしくて、びっくりしました。初めて会ったときは、お互いに緊張してて、会話が続かなかったこともあったけど、少しずつ話ができるようになって、嬉しかったです。

三日目はホストと一日中ずっと一緒にいました。午前、ホストファミリーとキリスト教の教会に行きました。とても大きく、きれいだったです。少しきついイメージをもっていたけど、楽にいれました。

教会へ行ったあとは、いったん家へ帰って小さいミニボウリングをしに行きました。結果は二位だったけど、家族とも仲良くなれたし、とても楽しくできたので、とても良かったです。

ボウリングの後は、みんなでランチを食べました。ハンバーガーで、とっても大きくてビックリしました。量が多かったけど、その分、とてもおいしかったです。途中で渡った橋からの景色はとてもきれいでした。

### <学校ツアー>

メアリズビルには、中学と高校が合わせて3つあります。どの学校に行ったときも生徒の人々や先生方がとても優しく接してくれました。私が学校を見学して、一番うらやましいと思ったのは、学校の壁です。なぜなら、廊下の壁の色が壁ごとに違ってカラフルだったり、いたるところにペイントもしたあって、学校とは思えないくらい見てて楽しかったからです。また、日本語の補習校に通っている子が、「アメリカの

いろいろなものがとっても自由だよ。逆に自由すぎて困っちゃうぐらい。」と言っていて、最初はおどろいたけど、3つの学校をまわっていくうちに、理解できました。授業が始まっているのに平気です。入ってくる子もいるし、自由に発信していいし、学校の子の中には、髪の毛を染めている子だって珍しくないし、ピアスをあけているし、とてもおどろくのと同時に、「さすがアメリカだな。」と思いました。また、学校の子たちと一緒にキックボールをやったり、女の子たちと話したり、とても楽しい時間を過ごせました。

### <ホームステイ>

私はホストファミリーに、折り紙を教えてあげました。日本らしい柄の入った紙で、とてもきれいだと言ってくれました。ハートの折り方を教えました。最初は苦戦していたけれど、だんだん慣れてきて、最後にきれいに完成することができました。とてもうれしそうにしていたので、私もうれしかったです。

### <最後に>

私は、今回アメリカに行って、西流の文化や「あたりまえ」についてふれることができ、とても毎日新しいことばかりで、想像をはるかに超えてとても良い体験になりました。アメリカにいた間は、とてもいろいろなハプニングを起こして、みんなに迷惑をかけたけど、ホストも笑ってくれたし、その方がもっと記憶に残って、楽しい思い出になったと思います。日本から離れ、日本を思うと、改めて振り返ることもできたし、言葉って、人間関係においても、一番大切、大事なんだなって思いました。これからも、挑戦し続けたいと思います。

8月18日、出発の時。僕は今の自分がどこまで成長できるかチャレンジしたいという思いを胸に抱いていました。その思いとは裏腹に、大きな緊張と不安に押しつぶされそうでした。今の英語力で、聞き取れるか、伝えられるか心配でした。しかし、空港についてからその不安はなくなり、シカゴ空港でアメリカ上陸という実感がわき、コロンバス空港ではワクワクに変わりました。

そしていよいよホストファミリー宅での生活がスタートです。

一日目は、日本語補習校に行き、HONDAでスピーチをした後に、ホストファミリーが友達の誕生日パーティーに連れて行って来て、ボウリングなどをして大盛り上がり。皆フレンドリーで、すぐに仲良くなれました。しかし、帰りにアイスを買ってもらった時のことです。はっきりと英語がわからなくて、すべて「Yes!」と言うと、アメリカンサイズのアイスが2つカップに入って出てきたのです。驚きと後悔でいっぱいになりました。アイスは大好きだし、おいしいのですが、食べ過ぎると気持ち悪くなります。

二日目は、一日中ホストファミリーと過ごせる日でした。この日は、メジャーリーグを観に行きました。野球をスタジアムで観るのは初めてなので、大興奮でした。スタジアムはとても広くて、試合の展開によって巻き起こる歓声がスピーカーよりも大きく、大迫力で面白かったです。夕飯は手作りの美味しいハンバーガー。

三日目はバンソールド中学校へ。日本とは違い、授業中にスマホを見たり友達と話したりと、楽しそうかつ自由でした。また、クラス全員が意見を出し合っていて、正直、うらやましかったです。僕も意見を言っていこうと勇気をもらった気がしました。午後はウォルマートでお買い物。アメリカのスーパーは日本と同じような構造でしたが、

規模が大きく全部セルフレジだったので驚きました。

四日目は、二つの高校に行き授業を受けました。

五日目は、メアリズビル市役所や裁判所を視察した後、動物園へ行きました。その後、プールパーティーへ行きました。寒かったけれど、日本ではできない飛込みができて楽しかったです。

六日目はCOS Iという科学館へ行きました。宇宙と海のエリアがとても興味深かったです。家に帰ると、アイスを食べに行かない？とホストスチューデントに誘われました。Yesと答え出発しましたが、心の中は、あの時の二の舞を踏まないように！とっていました。それなのに…注文時に焦ってバナナとバナナを間違えてしまい、出てきたのはバナナ味。失敗！でも、間違えてよかったと思えるくらいおいしかったです。その日の夜、日本のお土産を渡しました。意外だったのは、手ぬぐいなどの物より、お菓子の方がウケたことです。柿の種は「HOT!」サクマドロップやぬれせんは「tasty!」とっていました。羊羹は不思議がっていました。

最終日のMCHS。たくさん友達を作りました。アメフトは友達やホストスチューデントと応援しました。帰りはマーチングバンドの先頭で一緒に行進しました。

そして8月26日の帰国の日。本当に帰りたくないと思いつつ、ファミリーに何度もお礼を言って、帰国の途に就きました。

振り返ると、出発前の不安は何だったのかと思うくらい楽しい思い出ばかりで、失敗が怖いという感覚自体がなく、自然と色々な事にチャレンジすることができ、自分に自信を持つことができました。またメアリズビルへ行きたいです。本当にいい経験になりました。

Thank you for everyone!!

Thank you Lincoln!

## 派遣者 個人報告

# Me and Marysville, Where the Grass is Greener

英語が好きで海外に興味があり広い世界を見る事は自分にとって良い経験になると思いこの事業に参加させて頂きました。メアリズビルで過ごした日々は一生の思い出です！素敵な思い出いっぱい  
の十日間でした。And this is how my journey begins. ^^♪

### ☆ Meeting a lovely family ☆

The father is Patrick (who works at Honda), the mother is Leigh Ann, and the eldest sister is Sophia. She is in the marching band MHS, and as she studies Japanese in school, we spoke together in Japanese while I helped her learn it. The middle sister is Nora. She is the funniest. And, the youngest sister is Jane. She is so cute and adorable. Piper, a boxer, is their dog and Felix is their outdoor cat. Their cat was very affectionate towards me. They are such a kind and caring family.

シェパード家はとても親切でユーモアがある楽しいファミリーで温かく私を受け入れて下さり初めて会った日からとても仲良くなってすぐにみんな大好きになりました。みんなジョークが好きでたくさん楽しい会話の飛び交う毎日でした。

### ☆ A very fun holiday ☆

ホストファミリーとスーパーやモールへ買い物に行きました。日本未上陸の大好きなブランドを見つけてわくわくしながら買い物をしている私を見てみんなが笑っていました。(笑) 休日はみんなでPutt Puttをしました。Putt Puttは日本にはない遊びでミニゴルフよりも楽しいミニアドベンチャーゴルフです。私は初めての体験にも関わらず三位の結果でした。ゴルフの後みんなでアイスを食べに行きました。とても素敵な休日を家族でゆっくり過ごしました。

### ☆ School Days & Excursions in Town ☆

中学と高校では現地の学生と一緒に授業をしたり遊んだり写真を撮ったりたくさん話をしてとても仲良くなりました。その他にも裁判所、アップタウンメアリズビル、ホンダ工場見学、動物園、科学館 COSI に行きました。すべて規模が大きく

てきれいで自然豊かなアメリカの国の大きさを感じました。プールパーティーでは、高台からジャンプをしたりレースをしたり広くて大きいアメリカンプールをみんなで楽しみました。最終日には Leigh Ann がプレゼントしてくれた Monarchs の T シャツを着てみんなでフットボール観戦を楽しみました。マーチングバンドで演奏しているソフィアも見れて良かったです。

私はシェパード家がホストでとても嬉しかったです。毎日沢山会話をして一緒に映画を観たりカードゲームを遊んだり Jello (アメリカンゼリー) を食べたりこの家族との出会いは運命だと思いました。メアリズビルで生活してみて分かった事は、文化の違いやアメリカの良さまた比較してみて日本の素晴らしさも再度確認できました。ホストファミリーと毎日たくさん会話をして新しい言葉や単語もいっぱい習得することができました。そして自分のコミュニケーション力を試す事ができ現地の人々と会話できる事でより自信がつけました。英語が喋れるだけで世界の沢山のひと繋がる事を実感し、またその大切さや素晴らしさも分かりました。メアリズビルで経験したことはすべてとても貴重で自分にとってプラスの成長になったと思います。

I want to thank them for giving me this amazing chance. I'll never forget the awesome memories that I made in Marysville! Thank you Yorii and Marysville and everyone. I love you all! And thank you once again for everything.♡



## メアリズビルでの10日間

### 【ホームステイ】

ホンダのヘリテージセンターで歓迎式典を開いていただき初めてホストファミリーと会いました。そこにはお母さんとソフィと妹のゾーイがお出迎えしてくれました。ソフィとゾーイはソフトボールが得意で私に笑顔で話しかけてくれたり、英語に困ったときはいつも助けてくれて気を使ってくれました。

私はホストファミリーと一緒に日本の折り紙で鶴を折りました。完成するととても喜んでくれました。日本の文化を紹介できてよかったです。そして寄居町の水天宮について写真を見ながら紹介しました。掛け声を出しながら神輿を担いでいく動画を見せた時は驚いていました。日本との文化の違いを教えられてよかったです。日本に興味を持ってもらえたらうれしいです。

アメリカに来て5日目にはコロンバスにあるハンディントンパークという野球場に連れて行ってくれました。地元の野球チーム、クリッパーズを応援しました。スポーツのスタジアムに来るのは初めてでアメリカの野球をこんなに間近でみる事が出来て興奮しました。味方が良いプレーをすると拍手やベルを鳴らして応援していました。ホームランを打った時はたくさんの歓声が上がりとても盛り上がりました。アメリカは日本と違ってファンサービスがすごかったです。イニング終了ごとにイベントがありチームのマスコットキャラクター達がステージに来てTシャツをスタンドに向かって投げている大人から子供まで楽しめる試合でした。そして、何より驚いたのはお母さんがステージの近くへ行くと選手から野球ボールをもらいそれを私に渡してくれました。まさか初めてスタジアムに来てボールまでもらえるとは！とても楽しい一日になり今日のこの思い出は一生忘れません。

### 【誕生日】

アメリカへ行っている間に私は誕生日を迎えました。ホストファミリーにはプールパーティーから帰ってきた後に祝ってもらい、誕生日プ

レゼントやカラフルなカップケーキをたくさん準備してくれました。また、メアリズビル市役所では関係者や一緒に来た友達がハッピーバースデーの歌を歌ってくれました。この思い出はかけがえのない私の一生の思い出です。

### 【学校訪問】

BMS(バンソールド中学校)、MHS(メアリズビル高校)などの市内の学校を訪問しました。学校を回って思ったことは廊下、グラウンド、体育館、部屋など、どれもがとても広いということです。昼食は、学校の売店で食べましたがどの学校にもピザやハンバーガーが売られています。日本の学校との違いは遅刻して教室に入ってきた生徒がいてもそのまま授業は進み、髪色、ピアス、洋服が自由、スマホも持ち込み可能など日本よりとても自由なのだと思います。

### 【感想】

自分の英語は本当に伝わるのか、伝わらなかった時はどうすればよいかなど不安が多くありました。しかしこの事業を終えたころにはアメリカの人へ自分から話しかけることができるようになりました。そして、ホストファミリーと沢山会話をしている中勇気を出して話してみた英語が伝わったときは言葉が通じることの喜びを感じられました。勇気を出してコミュニケーションをとることの大切さを学びました。メアリズビルでは市長を始めとする多くの人に歓迎され多くの場所へ訪問し貴重な体験ができました。私は、この事業で得た経験や感動を医者になるという夢を叶えるための第一歩としてこれから経験を積んでいきたいと思います。貴重な機会をいただき本当にありがとうございました。

## メアリズビルでの学び

私が今回この海外相互交流派遣事業に参加したのは、自分の英語力を試してみたい、アメリカの方の文化や考え方を学んでみたいと思ったからです。私にとって初めての海外だったので不安や緊張はありましたが、ホストファミリーや現地の方に支えられ、たくさんのことが経験できた、わくわくした10日間でした。(ホームステイは7日間)

### 《初めてのホームステイ》

1日目。ガチガチに緊張した歓迎式典。その後、ホストファミリーと初めて会いました。私のホストファミリーはメキシコ系の方で、家の中にはスペイン語があふれていました。家族はお父さん、お母さん、パトリシオ、弟、妹の5人家族でした。日本のお土産を渡したらとても喜んでくれました。特にこまが人気で、何度も一緒に回して遊びました。

### 《丸1日一緒に過ごした日》

2日目。スーパーに行きカヤックをする為のウォーターシューズを買いました。サイズを聞かれて、戸惑いましたが、履いて解決。悔しい！次は、英語で答えたいと思いました。カヤックは、木に何度も衝突したけれど、楽しかったです。水がとてもきれいでした。

### 《アメリカの中学生と》

3日目。アメリカの中学校、BMSでの音楽の授業を一緒に受けさせてもらい、日本の手遊び歌をしました。その後移動し、初めてドルで買い物をしました。日本では見たことがないお菓子や飲み物が売っていて、楽しかったです。

### 《アメリカの高校生と》

4日目。アメリカの高校、MHS と ECHSを訪れました。髪を染めることやピアスが許されていることに驚きました。昼食は小さいバイ

キングのようになっていて、自分で好きな物を取って食べます。日本の給食と違い驚きました。野菜が全て生なことにも驚きました。チーズたっぷりピザがおいしかったです。

### 《寄居町を紹介！》

5日目。午前中、市役所や裁判所を見学し、午後は兄弟のサッカーの応援に行きました。一緒のチームのお母さん方が話しかけてくれ、私は日本のこと寄居町のことを説明しました。単語ばかりになってしまったけれど、楽しそうに聞いてくれました。

### 《言葉がわからなくても》

6日目。COSI という科学館に行きました。プラネタリウムはエジプトの歴史とコラボしていました。説明は英語なのでわかる単語を聞き取りながら、星の美しさを鑑賞しました。

### 《お別れ》

7日目。ホームステイ最終日。送別会では、歓迎式典の時よりも堂々とお礼のスピーチを言う事ができました。夜、ホストファミリー全員と写真を撮りました。次の日、出発が早いので、兄弟たちとお別れをしました。妹が英語のお手紙をくれ、「またいつでもきてね」と書いてあり、嬉しかったです。朝、ホテルの前で最後のお別れをしました。「グラスias」とスペイン語でいうと喜んでくれました。優しいホストファミリーが大好きです。

### 《これから》

私はこの一週間、たくさんの方と話すことで生きた英語に触れることができました。スムーズな会話まではいきませんでした。自分の思いを伝えられた時は、とても嬉しかったです。自分の視野を広げてくれたこの経験に感謝し、もっと英語を頑張りたいです。そして、将来に生かしていきたいと思います。

## 派遣者 個人報告

# アメリカで過ごした貴重な十日間

私はこの夏の十日間アメリカで過ごしました。この十日間で学んだことは数え切れないほどです。行く前は不安と緊張でいっぱいでしたが、いざ行ってみると長かったようでとても短かった十日間だと思います。この思い出は私の頭の中にずっと残る大切なものになりました。

### ☆メアリズビルへ到着☆

私達は計十五時間ほどのフライトを経てオハイオ州にあるメアリズビル市へ到着しました。機内では映画を見たり音楽を聴いたりして過ごしました。もちろんしっかり睡眠もとれました。ホテルではピザパーティーをしてとっても楽しかったです。

### ☆ホストファミリーとの生活☆

二日目、私はホストファミリーと会いました。私のホストファミリーは高校三年生のミナさんとお母さん、お父さんの三人家族で猫が三匹いました。とっても優しくいつも私優先で行動してくださいました。その夜はミナの友達何人か来てハンバーガーパーティーをしました。毎朝集合場所にはミナが送迎をしてくれました。車でお話をすることが一つの楽しみでした。お土産におせんべいをあげたらとても気に入ってくれて嬉しかったです。折り紙を一緒にやった時はとても難しそうで苦戦してました。私自身も英語で説明するのが難しくて手とり足とり頑張りました。ショッピングモールなども連れていってもらいました。きれいで広くてとても圧倒されてました。夕食ではおはしを出してくれました。ミナもチャレンジしてましたが、とても難しそうでした。

### ☆学校訪問☆

私達は今回の事業で三つの学校を訪れました。中学校では代表の子達が校内を案内してくれました。日本とは違って朝に国旗に向かって敬意を表していました。宝探しもとてもおもしろかったです。日本の中学校よりも広くて道に迷い

そうになりました。メアリズビル高校では農業クラスを見学したり実際に授業も体験しました。ですが、内容が難しかったので固まってしまいました。

ECHS では日本語クラスに参加してゲームをしたりして楽しかったです。

### ☆市街地視察☆

メアリズビル市内はとてもきれいで私が想像していたアメリカそのものでした。赤レンガで作られた町並みは映画の中に入ったかのような感じでした。荒川からとってきた岩や寄居の桜も見せていただきました。

### ☆ホストファミリーとお別れ☆

最終日の朝はとても早く、午前三時に起きました。朝ごはんを食べているときは涙が出そうになりました。しっかりとお家にも感謝をしました。集合時間についてスーツケースを置いたら最後にみんなとハグをしました。ミナとハグをした時何か伝えておけばよかったと後悔しました。そしてその後、日本へ帰国しました。

### ☆研修を終えて☆

私はこの十日間本当に貴重な体験をさせていただきました。私はこの事業で学んだことがあります。それは、「何事にも恐れなくてチャレンジする事」です。こわがっているのはこんなに楽しく過ごせなかったと思います。学んだことは自分の進路や将来の夢のために生かしていきたいと思います。そして、最後に、この事業に関わってくださった方すべての皆様に感謝の気持ちを伝えたいです。この経験が無駄なものとならぬよう一生懸命頑張ります。



## 私の人生を変えたメアリズビル

8月18日～8月27日の約10日間。私はアメリカでホームステイをするというとても貴重な体験をしました。

### <初渡米>

少し不安な気持ちもある中飛行機に乗りアメリカへと向かいました。飛行機の中はとても快適でしたが、今まで一度も飛行機に乗ったことがない私は飛行機特有の揺れにあまり慣れることができず体調を崩してしまいました。そんな私を気遣い、優しく対応してくださったCAの方々にはとても感謝しています。次に入国審査があります。今まで練習してきた成果を始めて発揮する時が来ました。ですが、やはり思い通りにはいかず、自分が思っていることを相手にうまく伝えることができませんでした。時間は少しかかりましたが、頑張って英語だけで説明できたのは自分の成長した部分の一つだと思います。

### <ホストファミリーと過ごす日々>

お家でタコスやピザを作って食べたり、大きなサンドイッチ屋さんやステーキレストランにも行きました。食べもの以外では隠れ家のような本屋さんに行ったり、アウトレットへ行きました。そこで、ずっと私が行きたかった BUILD-A-BEAR-WORKSHOP へ行きました。BUILD-A-BEAR-WORKSHOP は、様々な種類のぬいぐるみの中から一つ選び、綿を入れたり、ハートを入れて世界にたった一つだけのぬいぐるみが作れます。かつて日本にも店舗があったのですが、現在は日本に無いため、今は亡き祖母からもらったクマのぬいぐるみのメンテナンスができずにいました。今回オハイオ州に店舗があることを知り、私は長年の夢である「祖母の形見のクマのぬいぐるみをメンテナンスする」ことをホストファミリーの協力によって叶えることができました。メンテナンスをしてもらったクマのぬいぐるみはまた一段と可愛くなっていました。

家では、一緒に映画やアニメを観ました。家で犬を飼っているのので、犬とも遊びました。ホスト

シスターのアリソンの部屋でお互いの学校の話をしたり、日本の文化やアメリカの文化についても話しました。そこもやはり英語で伝えなければいけないので頑張りました。

### <学校見学>

日本の学校とは何もかも違いました。特に驚いたのが給食です。自分で食べたいものを選べるのですが、やっぱりお米がなくて、チーズバーガーかピザという選択肢しかありませんでした。最初はとてもうれしかったのですが、毎日食べて行くうちに飽きてしまいました。他に驚いたことは、授業風景です。日本とは大違いで、ガムを食べながら授業を受けている子、スマホを見ながら授業を受けている子、音楽を聴いている子もいました。少し羨ましいな、と思う反面、いくらかのけじめが必要だと思いました。その点では日本の学校の方が良いと思います。

### <ホストファミリーとの別れ>

朝早くにホストファミリーと共にホテルへ向かいました。ホストシスターとホストマザーは泣いてしまい、私ももらい泣きしてしまいました。またいつか会おうねと約束し、その場を離れました。

### <感想>

とても貴重な10日間でした。アメリカの文化をたくさん学び、日本の文化もたくさん伝えました。この10日間に起きた失敗、成功、すべてが私の思い出です。そして自分が大きく成長できた10日間でもありました。そして、海外に対する思いがより強くなったと思います。いつかホストファミリーにまた会うために。そして将来海外で語学や文化をもっと学びたい夢も一層強くなったので、この貴重な経験を活かし今以上に英語をもっと勉強していきたいと思っています。

## ホームステイを経験して

自分は今回、ホームステイという貴重な経験を通して、様々なことを学ぶことができました。

ホームステイに行く前から現地では何を食べよう、何をしようなど楽しみ反面、もちろん少なからずとも不安はありました。ただ、せっかくの貴重な体験なのに、ネガティブな感情ばかり抱いていても、もったいないなと思い、全力で楽しむという気持ちでのぞみました。失敗や不安も旅の醍醐味だと思いました。

長い長いフライトの後、ようやくアメリカに着きました。やはり、アメリカは日本と何もかも違いました。国土がとても広く、とうもろこし畑などの面積がとても広がったです。初日のホテルでの夕食はピザでした。美味しかったです。翌日はメアリズビル市のホンダの工場へ行き、歓迎会やホストファミリーとの対面がありました。歓迎会では英語で自己紹介をしなければならなかったのも、とても緊張しました。そのとき、これから英語での生活が始まるんだなと改めて実感しました。その後日本語学校へ行き、現地学生との交流や日本とは違う学校の様子を見せてもらいました。現地学生はとてもフレンドリーで明るい雰囲気の良い学校でした。

二日目はホストファミリーと過ごしました。ハンバーガーを食べに行ったり、メイカーという大きなスーパーに行って買い物をしました。家の裏庭でホストスチューデントのタイキ君とバスケットボールもしました。夕飯にはタコスを食べ、とても充実した一日を終えました。

翌日以降もたくさんの良い経験をしました。タイキ君の友達の家遊びに行き、ご飯を食べ、たくさん遊び、英語での交流を深めました。ギターも弾かせてもらい本当に良かったです。日本のお土産として扇子をプレゼントしました。とっても喜んでくれたのであげた方もうれしくなりました。夕方はタイキ君と教会に行き、た

くさんの人々と出会いました。自分が想像していた教会のイメージとは少し違い、卓球などの遊びができ、たくさんの人々と関わりを持ってました。

翌日は高校に行きました。実際に授業を見学したり、体験したりして、日本の学校とは違う授業を体験することができました。体育の授業ではキックベースをしました。案外上手くいき、沢山の人が話しかけてくれ、沢山の人々と友達になれました。学校が終わった後、ウォルマートに行きお土産を買いました。とにかく広く、本当に何でも売っていました。その後は、ベニーズ（ピザ屋）へ行き、市の関係者の方々やホストファミリーと会食をしました。エリックさん（市の関係者の方）と仲良くなれました。少しはやくベニーズを離れ、タイキ君のアイスホッケーの練習を見に行きました。初めてアイスホッケーを生で見たので、とても面白かったです。

今回のホームステイの中で一番印象に残っているのは、フットボールの試合の観戦です。実際に見るのは初めてで、友達とも見れたので本当に本当に楽しかったです。試合は僅差で負けてしまいましたが、とても良い思い出になりました。

ホストファミリーに、自分が習っている空手の形を見せました。自分からも日本の伝統文化的なものを見せることができました。このように、自国以外の国の文化を知ることや、自国の事を他の国に伝えるというのはとても重要だと思います。今回の経験を人生の糧としこれからの生活に活かしていきたいです。貴重な体験ができて、本当によかったです

# 引率者報告

メアリズビル市との交流は、平成25年から始まり今年で10年目になります。この間、寄居町は平成27年、平成29年、令和元年の3度、メアリズビル市の生徒を受け入れてきました。町からは、平成28年、平成30年の2度、メアリズビル市に町内中学生を派遣してきました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年から令和4年までは中止となってしまいましたが、令和4年には、メアリズビル市の生徒と町内中学校の生徒が13時間の時差を乗り越えてオンライン交流会を2回実施し交流を深めてきました。そして今年度は、4年ぶりに交流事業を再開し寄居町の生徒10名をメアリズビル市に派遣することになりました。

## 1 選考試験

町内の中学生35名から応募があり、派遣する生徒を決定するために日本語作文・英語面接・日本語面接からなる選考試験を実施しました。英語の面接では、外国人面接官からの英語の質問に、流暢な英語で回答できた生徒がいる一方で、質問が聞き取れず、何度も聞きなおし懸命に何とか答えようと奮闘する生徒もおり、この事業に参加したいという熱意が大いに感じられました。

そして、大勢の応募者の中から選考された今回の10名は、試験に対して一生懸命に取り組み、自身の目標をしっかりと持ってこの難関を突破した精鋭であると感じました。

## 2 事前研修会

選考された10名は、アメリカの文化や語学などを学ぶ事前研修会を4日間行いました。研修会では、始めにアメリカと日本の文化の違いや考え方を学びました。生徒たちは、日本との物価の違いや自分の意見をはっきりと言わないと相手が理解してくれないことに驚いていました。語学学習では、数名のALTの先生方にもご協力いただき、

入国審査の手続きやレストランでの注文・支払い方法、ホームステイ先で必要な会話などを実際の場面を想定した実践形式で行いました。初めは、研修に対して不安の表情を浮かべていましたが、研修を重ねるごとに英語で話しかけられることや英語で答えることへの不安や恐れなどが取り除かれていくように感じました。そして同時に、参加者となった10人の仲間意識が深まっていくことも感じました。

## 3 結団式

出発の前日に結団式を行いました。式では、町長、町議会議員、教育長、副町長さらにはこの事業費の基となる寄附をいただいているオリックス資源循環株式会社の有元社長にも、ご臨席を賜りました。そして来賓の方々からは、大変温かい激励の言葉をいただきました。有元社長からは、「海外相互交流派遣事業でメアリズビル市へ行けるこのチャンスを活かしてください。また、メアリズビル市へ行ったら環境問題の取組みについても是非見てきてください」とお話しいただきました。生徒たちも一人ひとりが派遣に向けての決意を表明し、翌日の出発に向けた良い式となりました。

## 4 出発

羽田空港を出発し、約12時間後にシカゴのオヘア国際空港に到着しました。大きな空港のため入国審査まで1時間以上並んだ後、いよいよ入国審査の順番がきました。一人ずつ入国審査に臨みました。審査官からは本場のネイティブな英語を浴びせられ、英語の対応力を非常に求められるきびしい入国審査と税関審査でした。この関門を全員無事に通過できた時は、全員が安堵の表情を浮かべていました。そして飛行機を乗り換えるまでの待ち時間で食事のため、空港内で初めて買物をした生徒がいました。多国籍の方々が大勢食事をしている中で、臆することなく席をとり、順



番で積極的に買物に挑戦している生徒の姿を見て、本当に頼もしいと思いました。

コロンバス空港には、同日午後6時に予定通り到着しました。コロンバス空港ではメアリズビル市の関係者の方々が温かく迎えてくれました。生徒たちには、約20時間という長旅の疲れも見えましたが、異国の地に降り立ち、ワクワクしている様子が周囲に伝わりました。



## 5 メアリズビル市での日々

到着した翌日には、ホンダヘリテージセンターで歓迎会を開催していただき、メアリズビル市長や郡政委員、学校長、ホンダ関係者、ホストファミリーなど大変多くの方々に歓迎していただきました。生徒一人ひとりが自己紹介をする場面では、全員が英語で立派に自己紹介を行いました。

また、ここでホストファミリーと初めて対面する場面となりました。とても緊張している生徒もいれば、最初からホストファミリーと楽しそうに話している生徒もいました。

歓迎会終了後、生徒たちは各ホストファミリーに引き取られ、ここから一人でのホームステイ開始となりました。生徒たちは、期待より緊張と不安で一杯であったと思います。引率者として心配をしておりましたが、「Have Fun (楽しんでね)」と声を掛けると、皆、元気に言葉やジェスチャーで返してくれたので、安堵するとともに安心して送り出すことができました。

3日間の学校体験では、学校施設の見学や授業に参加したほか、「ペップラリー(全校集会)」や現地生徒と一緒にメアリズビル高校フットボ

ール部の試合を応援したことなど貴重な体験をさせていただきました。また、日本語の授業では、現地の学生が使うスラング(若者言葉)を使った英語の劇を現地の生徒とグループになって発表しました。生徒たちは臆することなく現地生徒と英語でコミュニケーションをとり、素晴らしい劇を披露してくれました。劇の終了後には、仲良く記念撮影を行いました。

メアリズビル市役所では、市役所の方からメアリズビル市の歴史や産業、寄居町との関わりなど説明をいただきました。ショッピングセンターでの買い物体験では、事前研修の成果を遺憾なく発揮し、生徒たちだけでお土産をスムーズに購入していました。

送別会では、ベルビー市長から「メアリズビル市で体験したこと学んだこと、ホストファミリーとの出会いをこれからも大切にしてください」とのお言葉をいただきました。生徒たちからは、ホストファミリーに向けて英語で感謝を込めてスピーチを行いました。その言葉を聞いてホストファミリーの方々が涙を流して別れを惜しんでいました。引率者として改めて安堵するとともに生徒たちの成長に感動もいたしました。

## 6 まとめ

今回の交流事業に参加した生徒たちにとって、「中学生」という多感な時期にしたこの経験は、きっと彼らの今後の人生で大きな財産となります。そして、自分の夢の実現のために、アメリカでホームステイをしたこと、アメリカの友人ができたこと、アメリカの文化に触れたこと、日本の良さも感じられたことなどこれらの貴重な経験が今後活かされることを願っています。さらに寄居町の将来を担ってくれるような人材となることを期待しています。

最後になりましたが、この事業に携わっていただきましたすべての方々に深く感謝を申し上げまして、引率者としての研修報告とさせていただきます。